

第1回イベント概要

日時：令和4年11月12日(土)AM9:30~11:30

場所：大池公園会議室と園内一帯

参加者：19名(住民11、新聞社等2、事務局3、東海市役所3)

今回のイベントは、市の広報や新聞地方版でのボランティア募集の掲載他により、東海市外からも参加者が駆け付けるなど、参加者の皆さんの再生への関心の高さや真摯な意気込みを感じました。

このことは、会議室での参加者の再生へ向けた抱負や参加の動機の発言やアンケート結果にも明確に表れており、さくら再生ボランティア活動への積極的参加は、本活動を進める大きな原動力であるだけに、大変心強かつ有り難く感じられました。

その後園内の今年度重点作業区域を巡り、これまで実施してきた伐採や伐採により改善した景色、今後改善していきたい景色等の説明を受けた後、参加者全員で、さくらの成長を妨げている隣接した枝葉が競合する樹木の枝などを除去しました。

第2回イベントでは、樹木医の先生からさくらについての詳細な説明がありますので、是非ご参加下さい。

会議室での様子⇒



令和4年度イベントスケジュール(内容は予定)

第1回イベント【2022年11月12日(土)】

済

『日当りを良くしよう』
専門家の指導のもと、さくらの周りの支障木や枝を伐採し、さくらの生育を促進させます。

第2回イベント【2022年12月3日(土)】

『さくらの健康を考えよう(その1)』
樹木医の先生からさくらの基礎知識や樹勢回復方法などを聞き、そのあと、さくらの元気度調べを行います。

第3回イベント【2023年2月18日(土)】

『さくらの健康を考えよう(その2)』
前回と同様に、樹木医の先生の指導のもと、さくらの根元の土を柔らかくして肥料をあげます。

第4回イベント【2023年3月4日(土)】

『肥料をあげた木に名ふだをつけよう』
さくらに名ふだを付けPRし、さくらに興味を持ってもらいます。

このイベントの概要

- 大池公園(東海市中央町三丁目、面積約24.8ha)は1973年(昭和48年)に緩衝緑地として開園。さくらの名所として毎年春にはソメイヨシノ他のさくらが咲き誇り、最近ではライトアップも行われ花見の名所となっていますが、開園後約50年が経過しソメイヨシノ等の老木化が目立ってきました。
- 『大池公園さくら再生イベント』は、大池公園のさくらをこの先も楽しめるよう、市民の皆さんと東海市で協働して守り次世代に引き継いでいくと共に再生させ、名所としての魅力を更に付加することを目指して令和元年度に始まり継続しています。
- 『大池公園さくら再生イベント』は令和2年度に3回、同3年度に4回実施し、引き続き令和4年度も4回開催の予定です。みんなで“さくら”にふれあいながら簡単な維持管理作業を行い、さくらの勉強もできますのでぜひご参加ください。

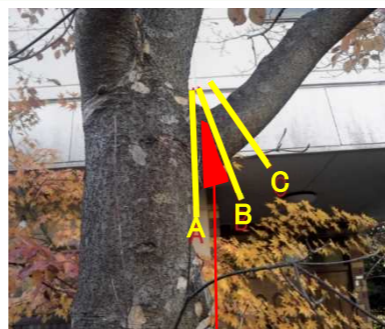
さくらの特徴

- ① **日当りを好む**=日陰になると光合成が阻害され葉や花芽の出が少なくなる。
さくらは陽樹(日当たりのよい環境でよく育つ性質をもつ樹木)で、日当たりが良い場所で、水捌けが良く肥沃な土壌で良く育つ。地下水位の高い場所や停滞水のある場所では良く育たない。
- ② **腐りやすい**=剪定したところから腐朽菌(木材腐朽菌は、木材を腐らせる菌のこと。シイタケやシメジなどの食用のキノコも分類上はこの菌と同じ仲間)が入り、幹や枝を腐らせる。
- ③ **病気になる易く、虫も付きやすい**=植えた時から見栄えを考えると、密植し過ぎ、病害虫が発生するという宿命にある。
病気：幼果菌核病、ナラタケ病、せん孔褐斑病、てんぐ巣病、ベッコウタケ病、紫紋羽病、白紋羽病
害虫：オビカレハ、アブラムシ類、アメリカシロヒトリ、コスカシバ、カイガラムシ類、ゾウムシ類、モンクロシャチホコ
- ④ **土壌の影響を敏感に受ける**=さくらは浅根性で、根が伸びるのは深さ50~60cm程度、土が固い所では30cm程度と比較的浅い所。土が締め固まるなど、土の条件が悪いと弱りやすい。

さくらの剪定の意義

- ・ **さくらに光を当てて元気をつけることができる。**
枯枝や不要な枝(からみ枝・逆さ枝・ふところ枝・徒長枝・並行枝・車枝等)さらに、隣り合う樹木と重なった枝などの剪定は日陰を解消し、成長を促し、健全で元気なさくらにすることが出来る。樹木は日照を求めて南側の枝葉の成長が盛んなので、さくらに隣接する北側の樹木が南側のさくらと枝葉が競合している場合も剪定する。特に、さくらが大きくなっていて、樹冠(枝葉が広がっている部分)が広がっていれば、隣接木がその下で茂ってもさくらの日当りにはそれほど影響がない。
- ・ やごやひこばえは、さくらが弱って枝が下の方から出てきたものだから、樹勢回復のためには切ってしまう方が良い。このような枝はそのうち自然に枯れてしまう。

太枝はどの位置で剪定すると良いか



ブランチカラー(幹の襟)

C:幹から枝が数センチ残っていると、残った枝の部分が枯れてしまい見苦しくなる。A:幹に沿って切ると自然で目立たない。B:実はBで切るのが適切。枝の付け根にはブランチカラーという部分があり、傷口を塞ぎ形成層を復活させる栄養分が多く含まれているため、カルスと呼ばれる回復組織が傷口を回復するといわれており、ブランチカラーを残して枝を落とすと傷口の回復が早いとされている。

10月21日
中日新聞朝刊
知多版に掲載
された『ボ
ランティア募
集』記事

大池公園の桜再生
ボランティア募集
東海市
東海市中央町の大池公園
で、樹勢が衰えてきている
桜の木の再生を手助けする
作業ボランティアを、市が
募集している。
市によると、大池公園に
は、ソメイヨシノなど八種
類約七百本の桜がある。植
樹から五十年以上が経過
しているのに加え、周囲
の樹木により日当たりが
悪くなったこの影響など
で樹勢が衰えているとい
う。
市は二〇二〇年度から
「さくら再生プロジェクト」を開始し、ボラン
ティアと一緒に桜の生育促進に
取り組んでいる。
初心者でもボランティア
に参加できるように、専門
家が管理方法などを指導す
るイベントも開催。全四回
で、初回は十一月二十日午
前九時半から、桜の日当た
りを悪くしている枝の伐採
方法を学ぶ。
申し込みは、電話か専用
の申し込みフォームから。
◎市花と緑の推進課 05
2(6003)2211、0
562(33)1111



令和4年度 再生イベント実施区域



場所	品種名
1	ソメイヨシノ (染井吉野)
2	エドヒガン (江戸彼岸)
3	シダレザクラ (枝垂桜)
4	ウスズミザクラ (淡墨桜)
5	オオシマザクラ (大島桜)
6	ヤマザクラ (山桜)
7	ヤエザクラ (八重桜)
8	ジュウガツザクラ (十月桜)

今回作業したさくらの周囲の樹木の剪定と枝葉の整理状況



今回剪定した枝葉は切りそろえ、安全な位置に置いた



今回作業した参加者



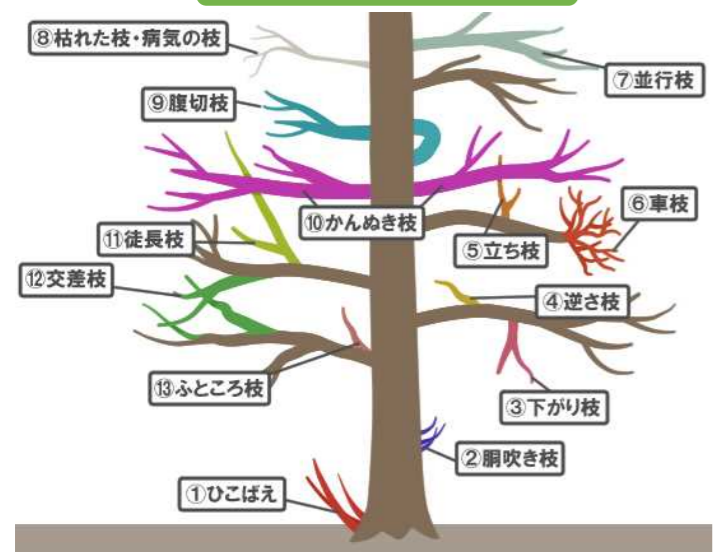
芝生広場の中にあるさくらの現況説明



昨年度市が実施した池側の支障木撤去後の風景



剪定した方が良い枝



第1回イベント参加者アンケート結果(回答数11)

- 参加者の構成

市内	9人	50代	1人	男性	9人
市外*	2人	60代	6人	女性	2人
		70代	3人		
		80代	1人		

*半田市1人
阿久比町1人
- さくら再生ボランティアに参加しようと思った動機(複数回答)

大池公園のさくらに興味があった	6人
さくら再生の手助けをしたいと思った	8人
さくらの手入れの方法を学んでみたいと思った	9人
仲間と交流できるとよいと思った	5人
大池公園を、市民が誇れる「さくらの名所」にしたいと思った	5人
その他(自由記入)	
・さくらは花を見るだけでなく、切った後も燻製等に利用できるの で、自分はそうしている	
・我家の木の剪定等見本とできたら	
・「ボランティア活動」をすること自体に興味があるから	
- さくら再生ボランティアとして取り組んでみたいこと(複数回答)

支障木の伐採	10人
枯れ枝や支障枝の剪定	10人
施肥や土壌改良	8人
新しいさくらの苗木の育成や記念植樹	5人
勉強会や講習会	6人
視察研修や交流会	4人
観察会やガイドツアー	2人
四季の草花や花木の育成	7人
(仮称)大池公園「さくら守りの会」結成	2人
その他(自由記入)	
・さくらだけではなく(例:水で遊ぶ)公園作りも良いと思います	
- さくら再生ボランティア活動にどの位の頻度で参加したいか(1つ選択)

年に1回くらい	0人
年に4回~6回くらい【作業内容に適した時季】	4人
月に1回くらい	4人
週に1回くらい【火、金又は土】	2人
毎日でも【空いている日】	1人
その他(自由記入)	0人
- その他自由意見
 - ・庭木の手入れの会に参加し、都合のつくときに従事している。
 - ・東海市民として何か役に立つことをやってみたいと思い、さくら再生ボランティアに参加させていただきました。
 - ・大池公園の桜の木も年齢を重ね弱っている木が多いことを知る事ができた。少しでも樹力を上げれる手伝いができるようにしたいと思いました。
 - ・大切な桜や公園の樹木は切られてしまった後も利用すべきだと強く思います。又、公園にはドングリや松ぼっくり等、工作に利用できる物が沢山あります。リース作り等してははいかがでしょうか。